**対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」**

**参加学生募集**

１．本派遣の趣旨

「対日理解促進交流プログラム」は、日本政府（外務省）が推進する事業であり、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、対外発信力を有する将来を担う人材を招へい・派遣（今回の募集は派遣）するものです。この内、カケハシ・プロジェクトは、北米地域を対象とした交流事業で、日本と北米地域との間で、対外発信力を有し将来を担う人材を招へい・派遣し、政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘し、日本の外交姿勢や魅力等について、被招へい者・被派遣者自ら積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、我が国の外交基盤を拡充することを目的としています。

　この度、本派遣プログラムを本学学生を対象に実施することとなりました。教員養成大学である本学で実施することには、以下のような意義があると思います。教育大学である本学は、毎年多くの学校教員を輩出しますが、社会の趨勢もあり、学校現場は急速にグローバル化が進んでいます。とりわけ、本学がある中部地方は、ものづくりが盛んで外国人労働者が多く、外国人児童・生徒が年々増え、クラス内の多文化の度合いが強まっています。また、2020年からは小学校英語の教科化が予定されています。こうした状況の中で、とりわけ小学校教員は、英語力だけではなく、今まで以上に異文化を直に体験し、視野を広げる必要性に迫られています。本プログラムの参加学生には、近い将来教壇に立つ自分の姿をイメージして本プログラムに取り組み、様々な出会いや体験をし、また、その出会いを継続し、できれば広げてもらいたいと思います。そうすることで異文化やグローバル社会を机上の空論としてではなく、現実として子どもたちにより良い形で伝えていけると期待します。奮って応募してください。

２．主催者

一般財団法人日本国際協力センター（JICE）

３．活動内容と実施時期（詳細は**別紙資料１**を参照）

（a）プログラム事前準備（出発前）

（b）プログラムの実施　（米国滞在中：平成28年11月30日（水）〜12月7日（水）の予定）

（c）プログラム事後活動（帰国後）

４．経費

以下の経費ついては、本事業で負担し、参加者が負担する経費は下記経費以外となります。

・日本を出国する国際空港～派遣国往復国際航空賃

・米国滞在中宿泊費・食費・移動交通費・施設/拝観料

・海外旅行傷害保険料

（自己負担の出費例については、**別紙資料2**を参照）

５．募集人数・対象者

・募集人数　２３名

・募集対象　日本の外交姿勢や魅力を積極的に発信できる学部生・院生で、**別紙資料３の**条件を全て満たす者

６．選考方法

書類と面接により選考します。本プログラムの趣旨の理解度、その達成に向けての意欲と発想、英語力など、多面的に審査した上で、総合的に判断します。なお，機会提供の公平性の観点から、他の条件が同等の場合、過去に本学の支援を受けた渡航経験のない者を優先します。面接は平成28年10月10日（月祝），11日（火）に学内で実施（面接スケジュール・，会場は学務ネットで10月7日中に連絡）。

７．応募書類・締切

応募書類一式をダウンロードし，次の書類と合わせて平成28年10月7日（金）正午までに国際交流センターへメールで提出，もしくは窓口に直接提出。

（a）応募申込書

（b）パスポート（顔写真のあるページ）のコピー（間に合わない場合には面接時または10月20日までに提出）

８．応募先／問合せ先

国際交流センター　眞野遠慧　[TEL 0566-26-2179](TEL:0566-26-2179) EMAIL [kokusaikoryu@m.auecc.aichi-edu.ac.jp](mailto:kokusaikoryu@m.auecc.aichi-edu.ac.jp)

外国語教育講座　　　小塚良孝　TEL 0566-26-2246 EMAIL [ykozuka@auecc.aichi-edu.ac.jp](mailto:ykozuka@auecc.aichi-edu.ac.jp)

**【別紙資料１　活動内容の詳細】**

■活動内容

(1) オリエンテーション

(2) 日本及び米国政府関係機関等表敬訪問

(3) 市内視察

(4) 日本紹介プレゼンテーション及び実演(学校交流)

学校交流時、プレゼンテーション、及び実演形式で発表を行う。

例) 外交、歴史、文化、自然、地域の魅力、先端技術、伝統芸能、ポップカルチャー等

(5) 国際機関訪問、NGO 団体等の訪問・地域活動への参加

(6) ワークショップ、報告会(気づき及び『アクションプラン』（米国で学び、経験したことを元に作成する帰国後の活動計画）の作成・発表)

■事前準備・プログラム中の活動・プログラム事後活動

(1)事前準備（渡航前）

1) 米国の歴史、文化、政治、経済、宗教、民族等についての事前学習

2) 日本の外交姿勢、歴史、文化、政治、経済、先端技術や在住地域についての事前学習

3) 日本紹介プレゼンテーション及び実演に向けての準備

＊事前準備スケジュール（予定）

オリエンテーションと事前学習、プレゼンの検討会を以下のスケジュールで行う予定です。

第一回　平成28年10月26日（水）3限、4限

第二回　平成28年11月 2日（水）3限、4限

第三回　平成28年11月 9日（水）3限、4限

第四回　平成28年11月16日（水）3限、4限

（準備の状況によっては、第五回目（日程は未定）を予定しています）

(2)プログラム中の活動（滞在中）

1) 米国での気づきを、毎日「気づき」ノートにまとめる

2) プログラム中の様子や日本の魅力を、英語にてブログまたはSNS で発信する

(3)事後活動（帰国後）

1) アクションプランの実施及び実施報告書の提出

①大学内、付属高校等での報告会を実施

＊本派遣終了後は、学内での報告会（またはワークショップ）、本学HPや図書館等での文書による報告を行う予定である。報告会では、単に見聞したことを報告するだけではなく、参加学生に今回の実施内容を基に授業案を作成してもらうなどして、それを他の学生等と共有し、意見交換を行う予定。

②在住地域での報告会を実施

③日本の魅力を、派遣国（米国）をはじめ英語で世界へ継続発信

2) プログラム直後アンケートの提出(感想文含む)

3) 半年後アンケートの提出(感想文含む)

**【別紙資料２　自己負担経費例】**

■参加者が負担する経費の例

・自宅～日本を出入国する国際空港間の往復交通費

（例：自宅～成田空港は自己負担、成田空港～米国は事業費負担）

・フライト時間により、国際線出発・到着空港付近で前泊・後泊が必要となる場合の宿泊費

・ホテル宿泊時に発生する宿泊費以外の個人的経費

（インターネット、電話、ミニバー、クリーニング等）

・超過荷物輸送料（航空機）

・ESTA（アメリカ電子渡航認証）に係る費用（約14 ドル）

・パスポート取得費

・表敬先、訪問先、交流校への記念品・お土産代

・その他（個人の土産代、主催者で費用負担する旅行傷害保険とは別に参加者が任意で加入する保険料

や、参加決定後の自己都合によるキャンセルで発生する費用、本事業負担に含まれない費用）

**【別紙資料３　応募条件】**

(1) 派遣日時点で大学生・大学院生（学生の年齢は35 歳まで）であること。

(2) 所属先の許可を得て参加できること。

(3) 心身ともに健康であること。

(4）日本国籍を有していること。あるいは在留資格「永住権」を有するか、特別永住者証明書を有し日本に

居住していること。なお、永住者及び特別永住者（日本居住者）については、証明書（両面）のコピーを提出してください。外務省へ確認を取った後、参加の可否が決定されます。

（5）本事業の趣旨を理解し、英語でプレゼンテーションを行い、積極的に交流し、米国の対日理解のための情報（外交姿勢や日本の強み・魅力等）を積極的に発信できること。

（6）米国に興味・関心があり、同地域について学ぶ意欲あり、積極的に交流し、コミュニケーションをとることができること。

（7）出発前に積極的に当該プログラムについて学び、事前課題に取り組み、また、帰国後、学内または地域内でプログラムの成果を生かした活動を行うこと。またブログやＳＮＳを利用し、英語でそれらの活動や日本についての情報発信を行うこと。

（8）規律ある団体行動ができること。JICE 規定のルール（自由行動不可、門限有）に従うことができること。

（9）「プログラム中の責任範囲」（下記）に同意すること。

（10）「個人情報利用同意書」に同意すること。

（11）原則的に、**別紙資料１**のすべての活動に参加できること。

＊プログラム中の責任範囲

(1) 各国の事情等やむを得ない事由により、旅程や宿泊先が変更される場合があります。

(2) 実施団体（JICE）は、派遣中、派遣団の健康状態や行動等が不適切と判断した場合、プログラム参加を取り消し、帰国を命じる場合があります。参加取り消しによって生じる費用は、当該者に請求する場合があります。

(3) 派遣時期の延長又は中止により個人の費用負担が発生した場合や、第三者（航空会社、ホテル等宿泊施設およびレストランを含む）のいかなる行動または過失、並びに参加者に対する損害及び所持品に対して、JICEは一切の責任を負いません。

（4）プログラムは、現地の在外公館等と治安状況を確認・判断の上実施致しますが、大学側も安全管理面に問題ないと判断し、本プログラムに参加頂くこととしておりますので、第一義的には安全管理の責任は大学等にあると考えております。万が一事故等が起きてしまった場合、現地へ大学関係者・保護者を派遣する等の対応については、大学側にお願いをいたします。（JICEで加入する海外旅行保険には、救援者費用が含まれておりますが、対象となるかどうかは保険会社の判断となります）JICEは、現地日本総領事館等の在外公館と協力し、各種手配のお手伝い等、出来る限りの後方支援をいたします。

**【別紙資料４　プレゼンに関して】**

応募書類の構想案の執筆に際して、以下の例を参考にしてください。

【発信内容例】

本派遣事業で発信する日本の魅力は、参加学生の関心・理解の所在に基づいて考えていく予定ですが、地域性や本学の特性を考慮すると、日本人ならではの細やかな手作業がよいではないかと考えています。これは、伝統産業から現代工芸まで内容的にも時間的にも幅広く、また、各参加者の出身地や専門教科との結びつきの強いものが少なからずあるでしょう。

　本学の所在地である愛知県をはじめとする中部地方はものづくりが盛んであり、愛知県だけでも、伝統産業としては、焼き物（七宝焼、常滑焼、瀬戸物など）、織物（有松絞、岡崎草木染など）、文具等（豊橋筆、足助の和紙など）数多く、現代工芸に目を向けても、フィギュア（一宮市など）や食品サンプル（名古屋市、日進市など）などがあります。

【発信方法例】

・派遣先に現物を持って行き、ppt等で作成のプロセスを紹介するなどして、その匠の技を説明する

・可能であれば、ものづくりに携わる人々にインタビューし、その声や現状を動画で伝える

このような形で、日本文化の繊細さや奥深さをリアリティーをもって伝えられればと考えています。

**【カケハシ・プロジェクト応募申込用紙】**

・学籍番号（　　　　　　　　　　　　　）　氏名（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

・学年　（　　　　　　　　　　　）　所属専攻・コース（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

・連絡先（電話番号　　　　　　　　　　　　　　　　　　）（email　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

・面接可能時間帯（可能な時間帯すべて○を打ってください。ただし、必ずしも希望に添えるとは限りません。所要時間は10分程度です。）

　平成28年10月10日（月祝）　　昼休み(12:30-13:20)　　　3限(13:20-14:50)　　　4限(15:00-16:30)

　平成28年10月11日（火）　　　2限(10:50-12:20)　　3限(13:20-14:50)　　4限(15:00-16:30)

5限(17:40-18:10)6限(18:20-19:50)

|  |
| --- |
| 【応募の動機】（200〜400字程度） |
| 【これまでの渡航経験】（本学が関係するものは必ず明記してください） |
| 【現地でのプレゼン案】（400〜600字程度）  ・別紙資料４を参考にできるだけ具体的に書いてください。 |